

「みんなで創り出す地域のささえあい」について考える

前回までは、長寿時代を楽しく生きる介護予防を3回シリーズでお届けしました。

「人生100年時代を生きる」覚悟が必要ということで、高齢者の一番の将来不安は「健康や病気」「介護が必要になる」ことだったからです。しかし、これからの社会はどのように変化していくのか不安を感じておられる方も多いのではないかと思います。そこで今回は「みんなで創り出す地域のささえあい」～地域共生社会の構築に向けたボランティアの重要性～と題されて厚生労働省・援護局 社会福祉専門官 添田正揮氏の講演会（平成31年2月24日）から印象に残ったものを掲載します。住みやすい地域にするために皆様も一緒に考えてみませんか？

高齢者の近隣とのつながりの状況

60歳以上の男女を対象にした調査では、近所の人たちと「親しくつきあっている」としている者の割合は1988年から2014年で半減しており、高齢世代の地域のつながりの希薄化する傾向にあると考えられる。

（内閣府意識調査）

社会的孤立・社会的排除がもたらす問題など（例）

・健康の悪化・食事の偏り・生きがいの低下・悪質商法による被害・青少年の非行・被害・育児・養育・介護不安、ストレス・セルフネグレクト（自己放任）・虐待（児童、高齢者、障害者）・家庭内暴力（ドメスティック・バイオレンス）・犯罪（空き巣、放火、誘拐など）・孤独死・孤立死・自殺

セルフネグレクトになる背景やきっかけ *生きる意欲を妨げる原因

・認知症・物忘れ・精神疾患等の問題(28.4%) 親しい人との死別の経験(27.5%) 家族・親族・地域・近隣等からの孤立、関係悪化など(25.5%) 病気・怪我等など身体症状の問題(18.9%) 何らかのトラブル・事故の経験(16.7%) など
<経済社会総合研究所 H23. 3月>

地域共生社会の実現

支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築する。

<ニッポン一億総活躍プラン>



気をつけましょう

広島県警察本部生活安全総務課発行

平成31年1月31日

犯罪情報官 速報

マイナンバーなど個人情報の提供依頼に注意!!

県内で、マイナンバーの提供を依頼する不審な封書の郵送が確認されました。過去には、電話やメールでの不正な勧誘も確認されています。

マイナンバーなどの個人情報に対する不審な手紙や電話などには注意しましょう！

重要 POINT

- 不審な封書や電話は無視して、消費者センターや警察にご相談ください。
- マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178
- 消費者ホットライン 188
- 警察相談専用電話 #9110

※ マイナンバーの利用範囲は、社会保障、税、災害対策の3つ行政分野に限られています。

(例) ○○様

実在する会社名

●●株式会社

個人番号(マイナンバー)ご提供のお願い

弊社より官公庁へ提出する書類に個人番号を記載することが義務づけられましたことから、関係書類を送付していただきますようお願い申し上げます。(抜粋)



平成28(2016)年～平成32(2020)年

「めざそう! 安全・安心・日本一」

ひろしまアクション・プラン

こちらの二次元コードを読み取ると、犯罪発生マップにアクセスできます。犯罪発生マップは、犯罪や不審者情報を地図上にわかりやすく公開しています。



広島県警察ホームページも見てね。

キャッシュカードをだまし取ろうとする詐欺封書にご注意